

- 本製品は、ケーシングタイプ薄壁用は壁厚（111～141mm）、厚壁用は壁厚（142～170mm）、3枚建・片引き2枚建は壁厚（146～176mm）、片引き3枚建は壁厚（186～216mm）に取付けられます。
- ノンケーシングタイプNC90は壁厚（50～75mm）、NC115は壁厚（76～100mm）、NC156は壁厚（116～130mm）、NC171は壁厚（131～145mm）、NC180は壁厚（146～160mm）、NC210（片引き3枚建）は壁厚（170～190mm）に取付けられます。

■施工される方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。
- ▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 取付け調整後、本体の鴨居へのかかりが5mm以上あるか確認してください。本体と枠の間にすき間が生じ、本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。
- 建付け調整後、本体の鴨居へのかかりが5mm以上か、本体と縦枠の上・下部にチリが均等か、確認してください。かかりが足りない場合、本体が外れるおそれがありますのでご注意ください。
- 本体に寄りかからないでください。無理な力が加わると、本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。

■施工上のお願い

- 枠取付けの際は、水準器・下げ振り等で水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤（現場手配）を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤（現場手配）を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は「F★★★★」又はノンホルムタイプを使用してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。（本説明書内で「現地手配」と記されている場合は除きます。）
- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 枠の取付け時には、ゆがみ・ねじれなどのないように（特に中縦枠）注意してください。
- 建具枠と柱・間柱・まぐさの間には必ずすき間をつくって納めてください。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさの間には必ずかい木を入れてください。
- かい木には、合板等の乾燥剤を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 本体は落下させたり、立てかけるときに衝撃を与えないでください。戸車部の樹脂部品が傷付き、開閉に支障をきたすおそれがあります。

■部品・部材の明細

■枠セット

		引違い	片引き	引分け	3・4枚建	片引き 2枚建	片引き 3枚建
枠	鴨居	1	1	1	1	1	1
	縦枠	2	1	—	2	1	1
	中縦枠	—	1	2	—	1	1
	小縦枠	—	1	2	—	1	1
	上レール	1	1	1	1	1	1

		引違い	片引き	引分け	3枚建	4枚建	片引き 2枚建	片引き 3枚建
部品 セット	引違い用	1	—	—	—	—	—	—
	片引き用	—	1	—	—	—	—	—
	引分け用	—	—	1	—	—	—	—
	3枚建用	—	—	—	1	—	—	—
	4枚建用	—	—	—	—	1	—	—
	片引き 2枚建用	—	—	—	—	—	1	—
	片引き 3枚建用	—	—	—	—	—	—	1

		引違い 4枚建	片引き	引分け	3枚建	片引き 2枚建	片引き 3枚建
敷居	敷居	1	1	1	1	1	1
	下レール	2	1	1	3	2	3

■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品

引違い・3・4枚建用本体

1枚梱包×2：引違い用
1枚梱包×3：3枚建用
1枚梱包×4：4枚建用
(ガラス扉はR・L1本ずつ1枚梱包)

引違い・4枚建用枠

- 上レール
- 戸当り (2本)
- 縦枠 (2本)
- 鴨居
- 召合わせパッキン (3本) (3枚建には入っていません)

引違い・4枚建用ケーシングセット (ケーシングタイプのみ)

引違い・3・4枚建用敷居

- 下レール
2本 (引違い・4枚建)
3本 (3枚建)
- 薄敷居
- または
- 下レール
2本 (引違い・4枚建)
3本 (3枚建)
- 埋込敷居

片引き用本体

1枚梱包×1：片引き用
1枚梱包×2：片引き2枚建用
1枚梱包×3：片引き3枚建用

片引き用枠

- 上レール
- 戸当り (2本)
- 小縦枠
- 鴨居
- 中縦枠
- 縦枠
- 目かくし (3枚建片引きのみ)

片引き用ケーシングセット (ケーシングタイプのみ)

片引き用敷居

- 下レール
1本 (片引き)
2本 (片引き2枚建)
3本 (片引き3枚建)
- 薄敷居
- または
- 下レール
1本 (片引き)
2本 (片引き2枚建)
3本 (片引き3枚建)
- 埋込敷居

引分け用本体

1枚梱包×2
(ガラス扉はR・L
1本ずつ1枚梱包)

※4枚建・引分けには召合わせパッキンが同梱されます。

引分け用枠

- 上レール
- 召合わせパッキン (3本)
- 中縦枠 (2本)
- 小縦枠 (2本)
- 鴨居
- 戸当り (2本)

引分け用敷居

- 下レール
- 薄敷居
- または
- 下レール
- 埋込敷居

■部品セット

〔片引き・引違い用〕

組立て用皿小ねじM4×50	4本
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50	5本
縦枠取付け用DNビス (皿木ねじ) φ3.8×50	12本
穴埋めシールシート (NC90/115のみ)	1枚

〔3枚建・片引き2枚建用〕

組立て用皿小ねじM4×50	4本
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50	6本
縦枠取付け用DNビス (皿木ねじ) φ3.8×50	12本

〔引分け・4枚建・片引き3枚建用〕

組立て用皿小ねじM4×50	4本
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50	9本
縦枠取付け用DNビス (皿木ねじ) φ3.8×50	12本

〔引違い・3枚建・4枚建/薄敷居用〕

組立て用皿小ねじM4×50	4本
---------------	----

〔片引き・片引き2枚建・片引き3枚建/薄敷居用〕

組立て用皿小ねじM4×50	5本
---------------	----

〔引分け/薄敷居用〕

組立て用皿小ねじM4×50	6本
---------------	----

〔引違い・3枚建/埋込敷居用〕

敷居取付け用ナベタッピンねじφ4×40	6本
---------------------	----

〔片引き/埋込敷居用〕

敷居取付け用ナベタッピンねじφ4×40	6本
中縦枠埋込敷居スペーサー	1個

〔引分け/埋込敷居用〕

敷居取付け用ナベタッピンねじφ4×40	9本
中縦枠埋込敷居スペーサー	2個

〔4枚建/埋込敷居用〕

敷居取付け用ナベタッピンねじφ4×40	9本
---------------------	----

〔片引き2枚建/埋込敷居用〕

敷居取付け用ナベタッピンねじφ4×40	6本
中縦枠埋込敷居スペーサー	1個
ポリネートチューブ	1本

〔片引き3枚建/埋込敷居用〕

敷居取付け用ナベタッピンねじφ4×40	8本
中縦枠埋込敷居スペーサー	1個
ポリネートチューブ	1本

〔引戸錠セット〕

サムターン本体	1個
サムターン取付け用皿小ねじM3×10	2本

■開口部の作り方

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

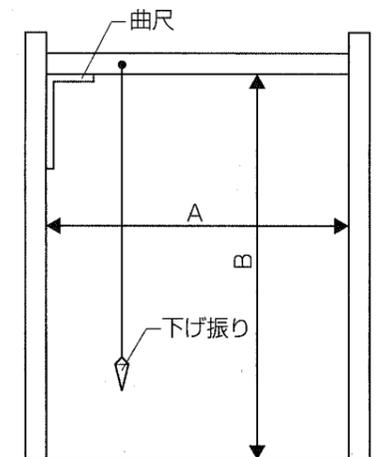
■壁厚の違いによる枠とケーシングの組み合わせ

(単位：mm)

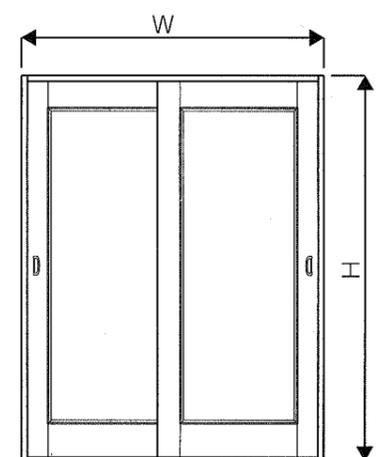
開口寸法A	製品寸法W+10mm
開口寸法B	製品寸法H+5mm

	ケーシング (足寸法)	対応壁厚
薄壁用	8	111~121
	14	122~133
	19	134~141
厚壁用	8	142~148
	19	161~170
	19	169~176
3枚建 片引き2枚建	8	146~156
	14	157~168
	19	169~176
片引き3枚建	8	186~196
	14	197~208
	19	209~216

●開口寸法



●製品寸法



床の張り方

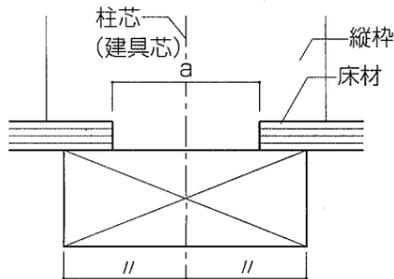
〔床先張り（枠後付け）の場合〕

●引違い・3・4枚建

※床材は、柱芯（建具芯）を中心にa寸法あけて張ってください。

(単位：mm)

枠機種	a寸法
引違い・4枚建	60
3枚建	96



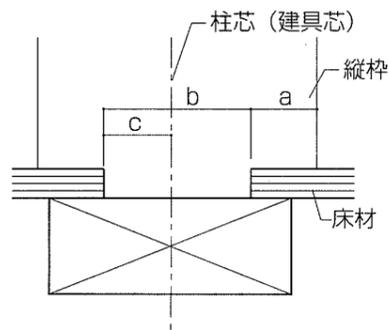
●片引き・引分け

※床材は、柱芯（建具芯）より引き込み側にb寸法あけて張ってください。

柱芯と建具芯が合っていない場合は、縦枠端部よりa寸法内側に入った所にb寸法あけて張ってください。

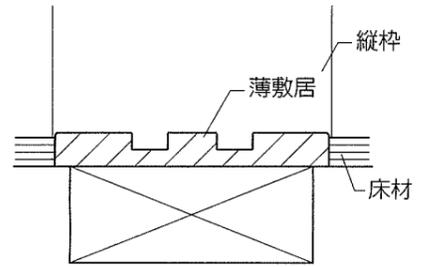
(単位：mm)

枠機種	a寸法	b寸法	c寸法
NC90	15	30	0
NC115	27.5	30	0
NC156	48	30	0
NC171	63	30	7.5
NC180	72	30	12
C付115(薄壁用)	27.5	30	0
C付142(厚壁用)	54.5	30	13.5
NC片引き2枚建	37	60	7
NC片引き3枚建	31.5	96	22.5
C付片引き2枚建	27.5	60	12.5
C付片引き3枚建	32	96	33



〔床後張り（枠先付け）の場合〕

※枠取付け後、縦枠・薄敷居にそって床材を張ってください。



取付け順序

1 枠の組立て

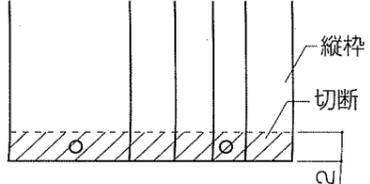
〔床先張り（枠後付け）の場合〕

※埋込敷居を使用してください。

●図のように、各部材を組み合わせ、同梱のねじ（皿小ねじM4×50）で固定します。

〔A部詳細図〕

※縦枠（斜線部）を切断してください。



〔埋込敷居〕

●片引き



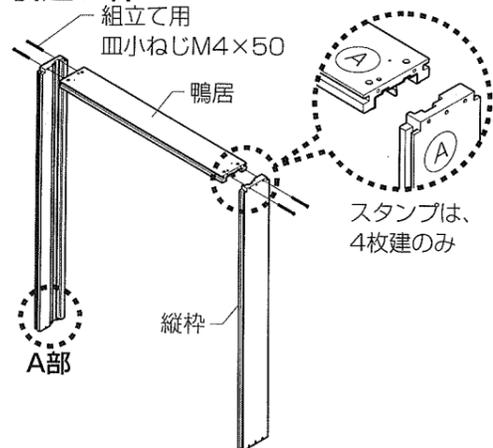
●引違い・片引き2枚建



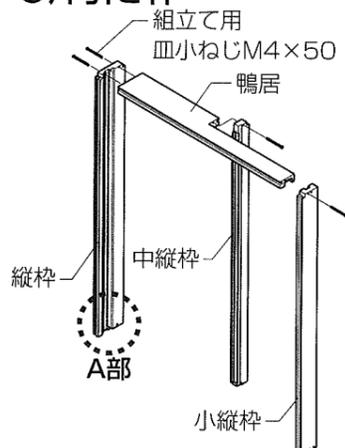
●3枚建・片引き3枚建



●引違い枠



●片引き枠



※4枚建は、同じ記号を組み合わせてください。

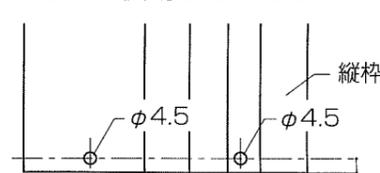
〔床後張り（枠先付け）の場合〕

※薄敷居を使用してください。

●図のように、各部材を組み合わせ、同梱のねじ（皿小ねじM4×50）で固定します。

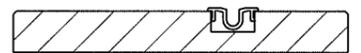
〔B部詳細図〕

※縦枠（下穴加工済み）を切断せずに使用してください。



〔薄敷居〕

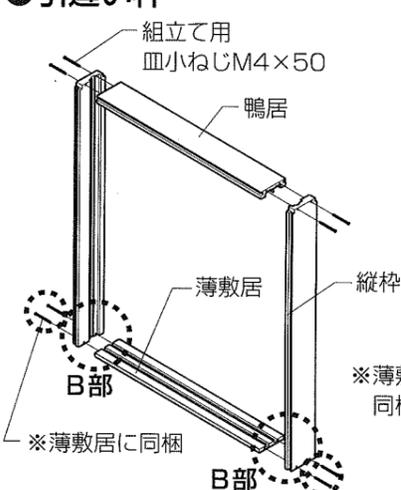
●片引き



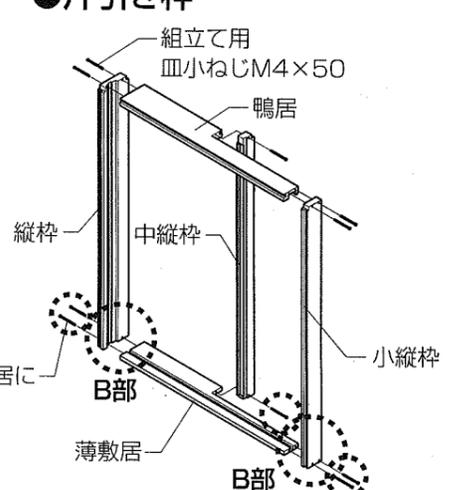
●引違い



●引違い枠



●片引き枠



2 枠の取付け

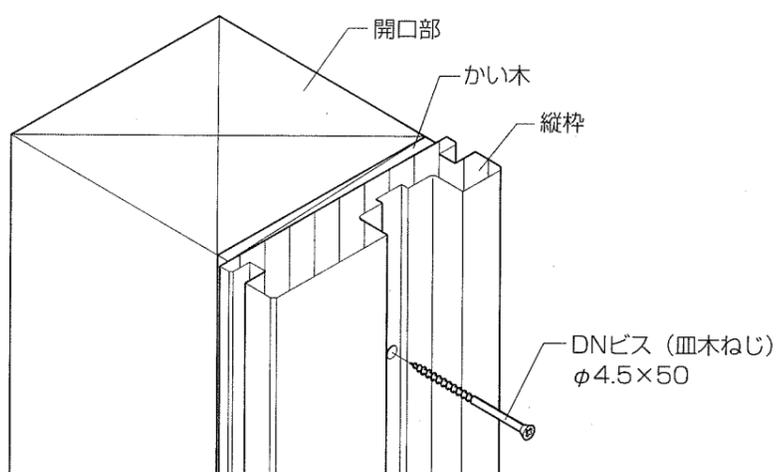
開口部と、縦枠・（中縦枠・小縦枠）・上枠との間にかい木を入れて取付けます。

●鴨居

※鴨居はナベタッピンねじφ4×40で固定してください。

●縦枠・小縦枠

※DNビス（皿木ねじ）φ4.5×50で固定してください。



▲注意

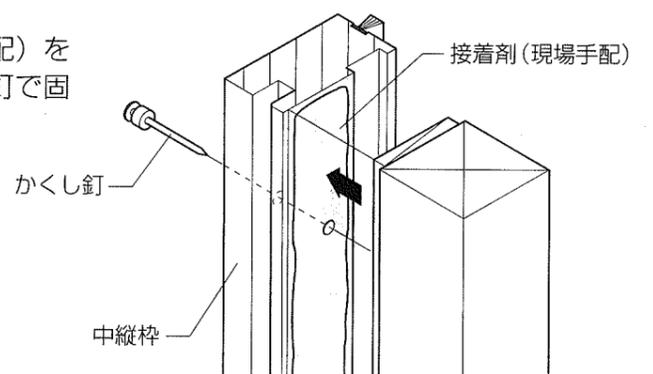
●取付け調整後、本体の鴨居へのかかりが5mm以上あるか確認してください。本体と枠の間にすき間が生じ、本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。

お願い

※片引き・引分けの建具引き込み部の半壁は、枠を開口部に取付けてから施工してください。

●中縦枠

※裏面に接着剤（現場手配）を塗布し、専用のかくし釘で固定します。

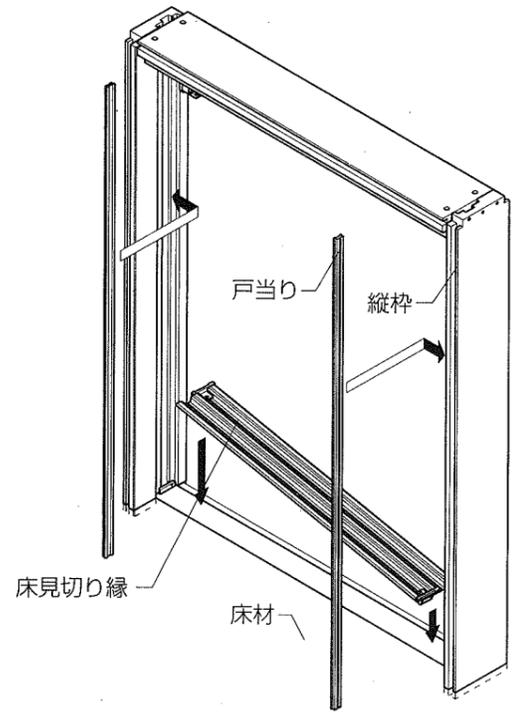
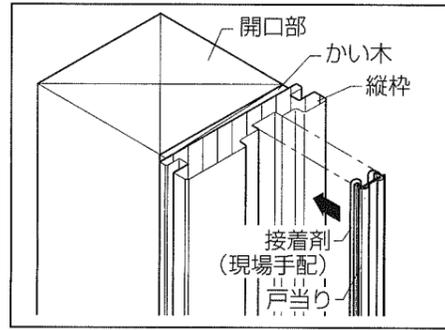
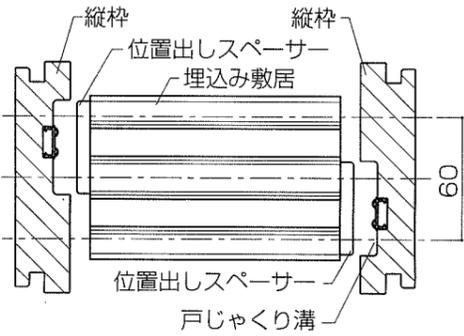


〔埋込敷居の取付け〕

●引違い枠

(3・4枚建枠は引違い枠に準じる)

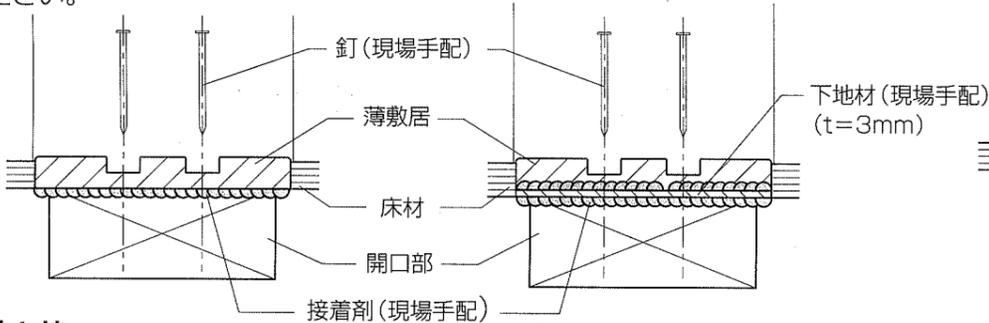
- ①埋込敷居に付いている位置出しスペーサーを、縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。
 - ②同梱のねじで固定します。
 - ③戸当りに接着剤(現場手配)で溝をふさぎます。
- ※戸当りは必ず、敷居取付け後に取付けてください。



〔床後張り(枠先付け)の場合〕

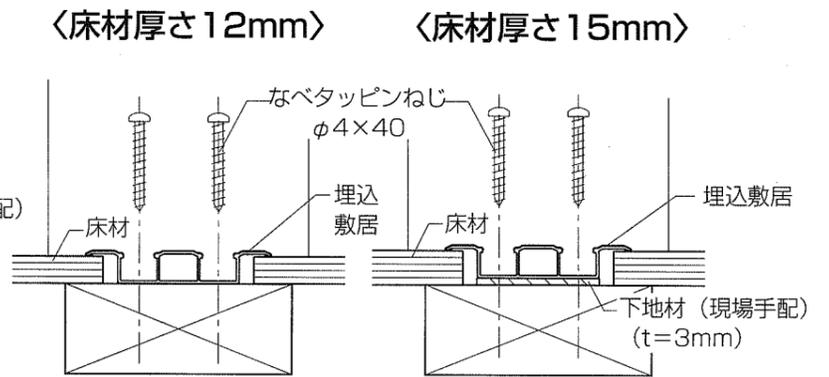
●床材厚さ12mm

- ※必ず薄敷居に接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。
- ※釘は端部より100mm離し、450mmピッチで接着剤(現場手配)と併用して取付けてください。



●床材厚さ15mm

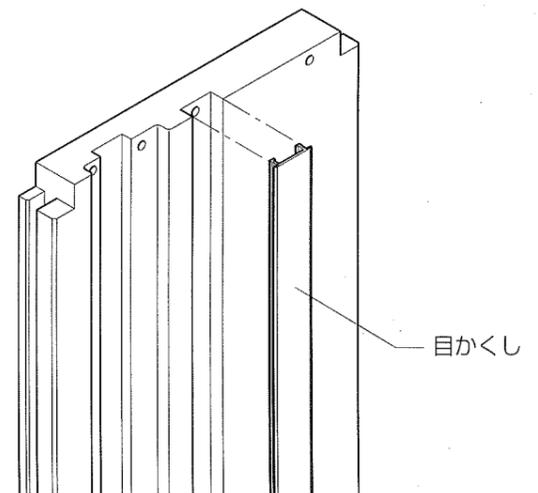
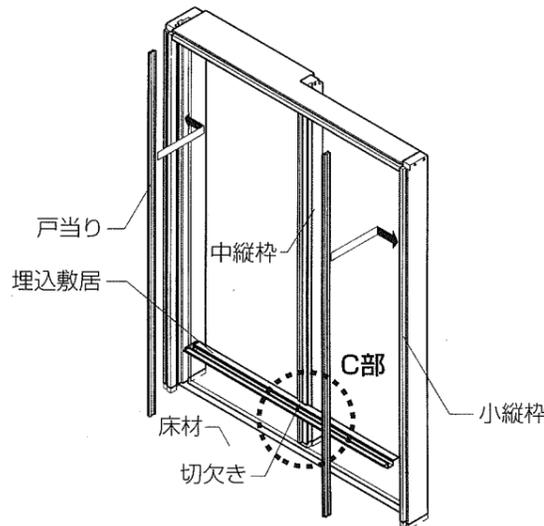
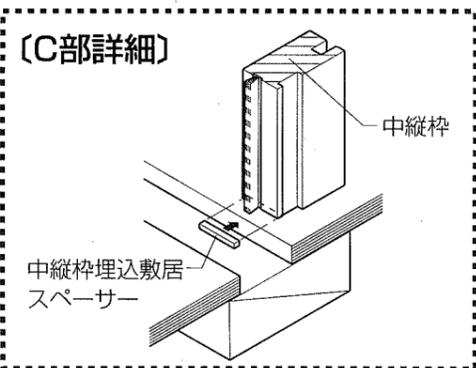
- ※必ず薄敷居と下地材に接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。



●片引き枠

(引分け・片引き2・3枚建は片引き枠に準じる)

- ①埋込敷居同梱の中縦枠埋込敷居スペーサーを中縦枠のすき間にに入れてください。
- ※片引き2・3枚建の敷居スペーサーは、部品セット内のポリネートチューブ(接着剤)で固定してください。
- ②埋込敷居の切欠きを中縦枠に合わせます。
- ※以下は引違い枠を参照してください。

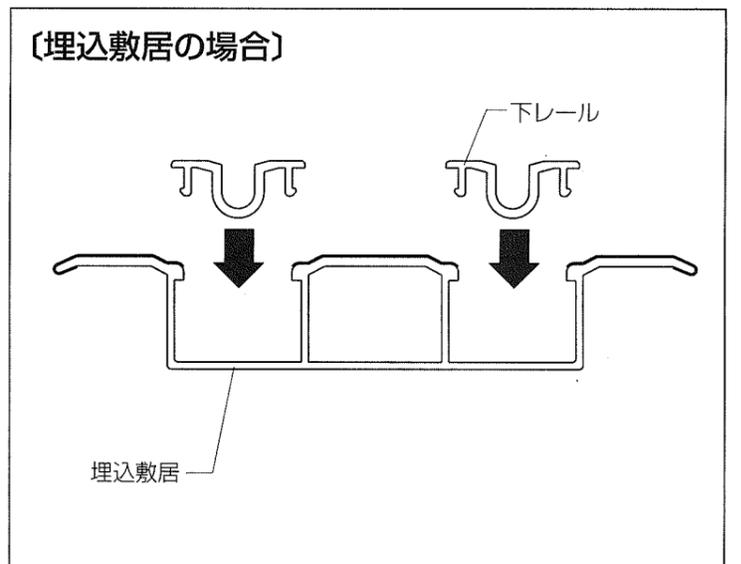
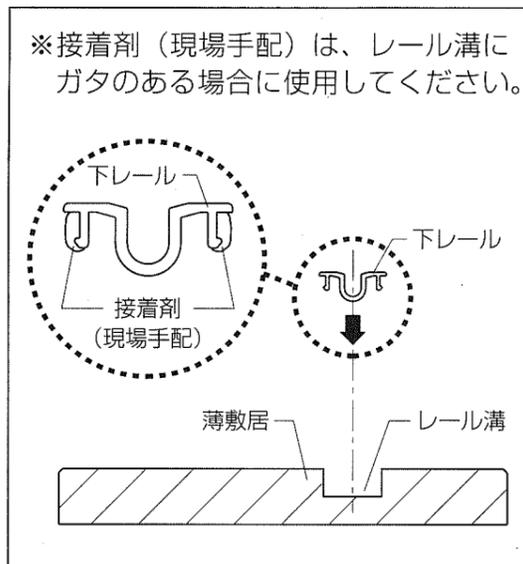
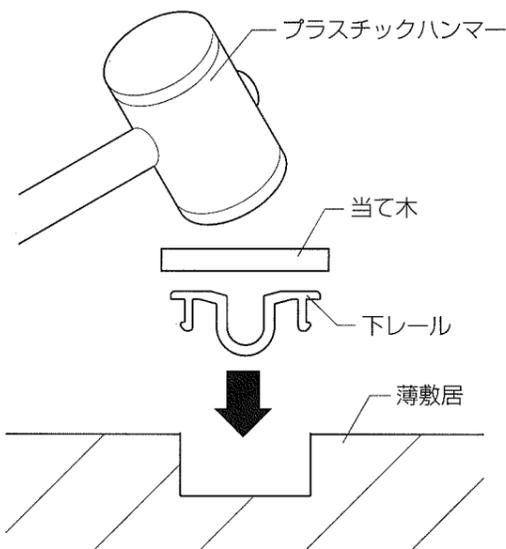


●3枚建片引きのみ

- 縦枠中央の溝に目かくしを戸当りと同様に接着剤(現場手配)で取付けてください。

③下レールの取付け

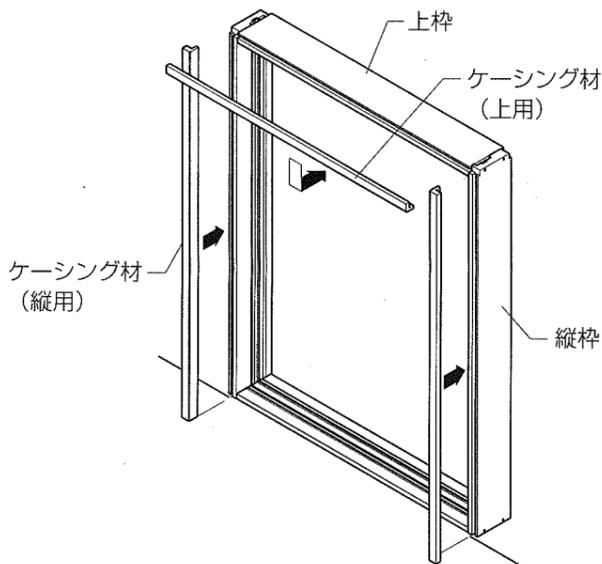
- 敷居の溝にプラスチックハンマー等でたたき込んで固定します。



4 ケーシング材の取付け (ケーシングタイプのみ)

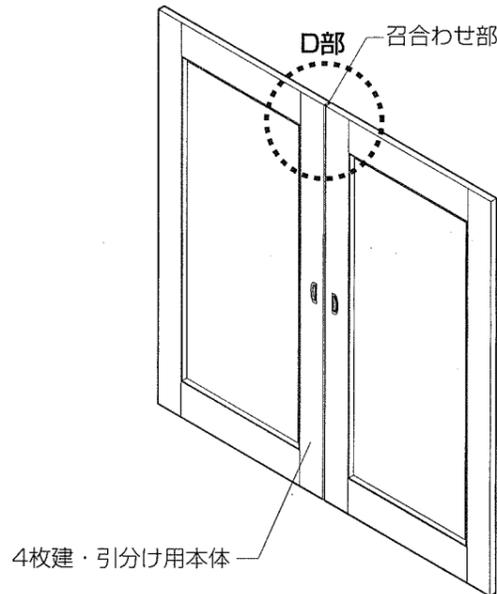
※壁材・床材を仕上げしてからケーシング材を取付けてください。

- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
- ②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
- ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤 (現場手配) を塗布し、ケーシング材を固定します。

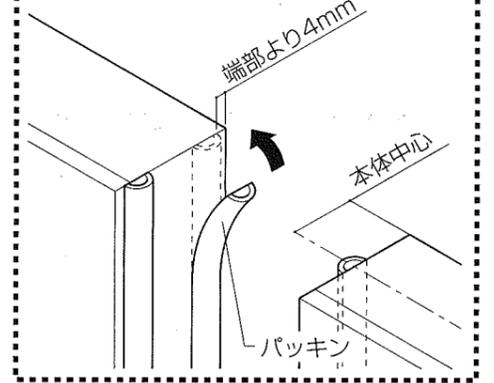


■ 召合わせパッキンの取付け (4枚建・引分けのみ)

※4枚建・引分け用本体の召合わせ部に、枠と同梱のパッキンを取付けます。パッキン裏面のシートをはがし、5kg程度の力で手で押し張付けてください。(パッキンは枠のダンボールに入っています。)



〔D部詳細図〕



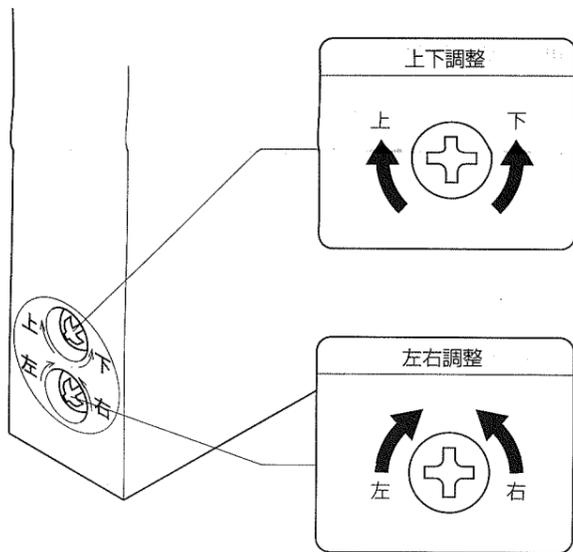
■ 引戸本体の建付け調整

● 本体には、上下方向、左右方向及びブレーキ力の調整機能が付いています。

〔上下調整 (調整幅+4mm、-2mm)〕

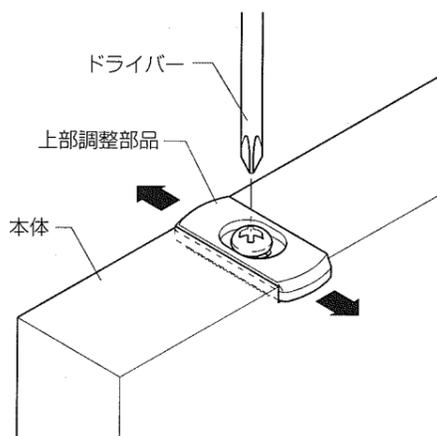
※鴨居に5mm以上かかるよう調整してください。

- 本体両下端の上下調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。



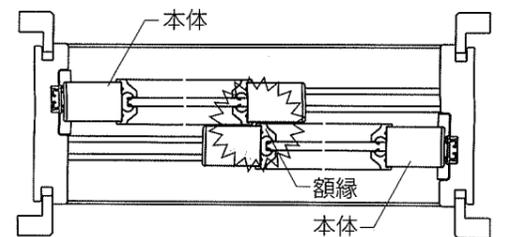
〔左右調整 (調整幅±2mm)〕

- ① 本体両下端の左右調整ねじを左に回すと本体が右に動き、右に回すと左に動きます。
- ② 本体上端の上部調整部品のねじをゆるめ、①で調整した分だけ上部調整部品をずらし、ねじを締め直します。(本体が常に垂直になるように調整してください。)

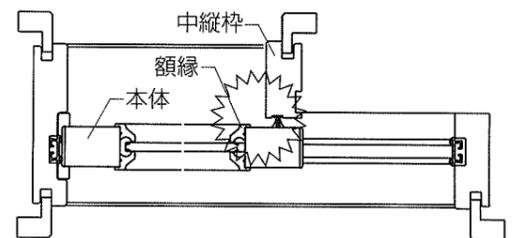


※前後調整する場合は、本体同士がぶつからないようにご注意ください。又、本体と中縦枠モヘアが接触しすぎて、開閉が重くならないよう調整してください。

● 引違い・3枚・4枚建

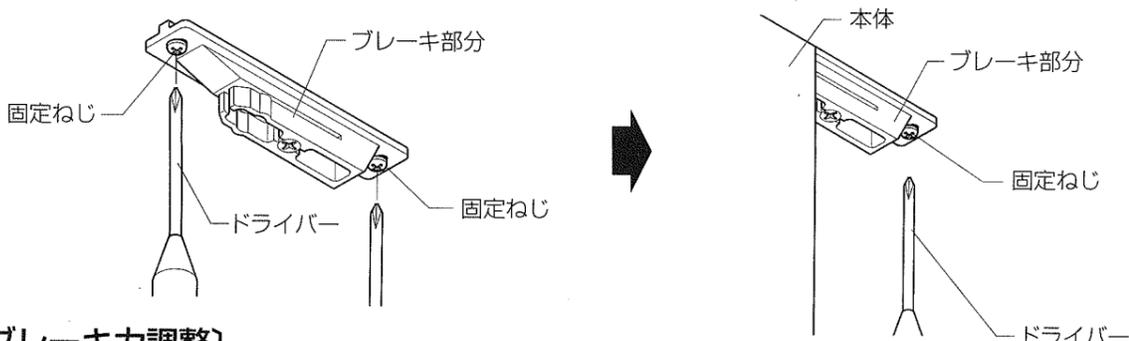


● 片引き・引分け



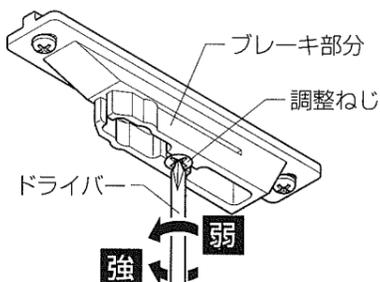
〔ブレーキの前後調整〕

本体の前後調整時、ブレーキの前後調整も行ってください。上レール内側に付いているブレーキ部品の固定ねじをゆるめ、図のように本体を途中まで閉じてください。このまま片側の固定ねじを締め、本体を開けて反対側の固定ねじも締めてください。



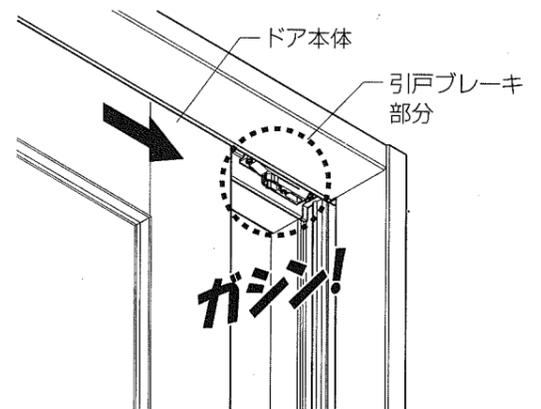
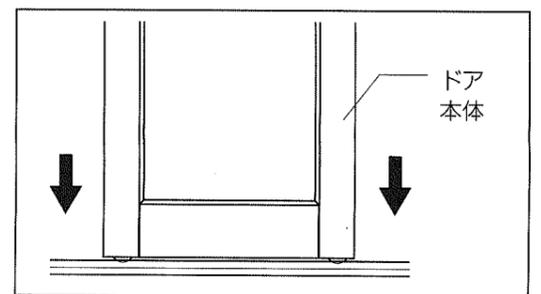
〔ブレーキ力調整〕

上レール内側に付いているブレーキ部品の調整ねじで、ブレーキ力を調整してください。



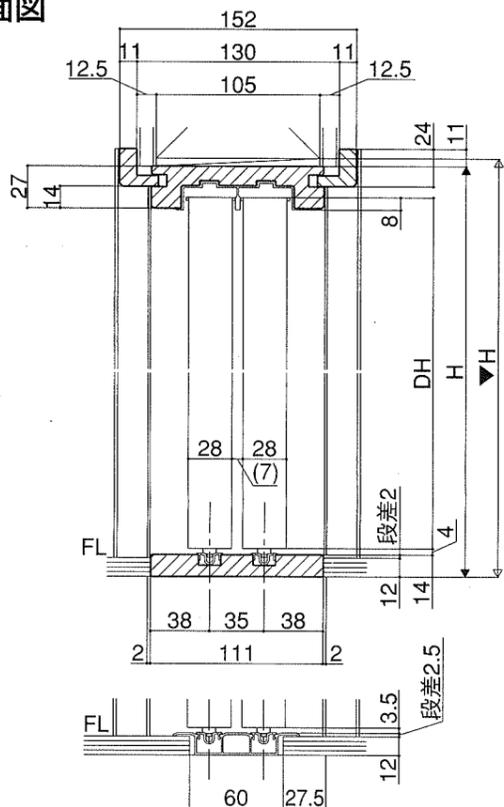
- お願い
- 調整は必ず手回しドライバーを使用してください。※電動ドリルは使用しないでください。
 - 調整ねじを弱方向に回す場合、ねじ頭がブレーキの表面より出すぎないように調整してください。回しすぎるとねじが抜けます。
 - ※ 出寸法を1.5mm以下としてください。

- 本体がブレーキ部品にあたる時は、上下調整ねじを回して本体を下げてください。

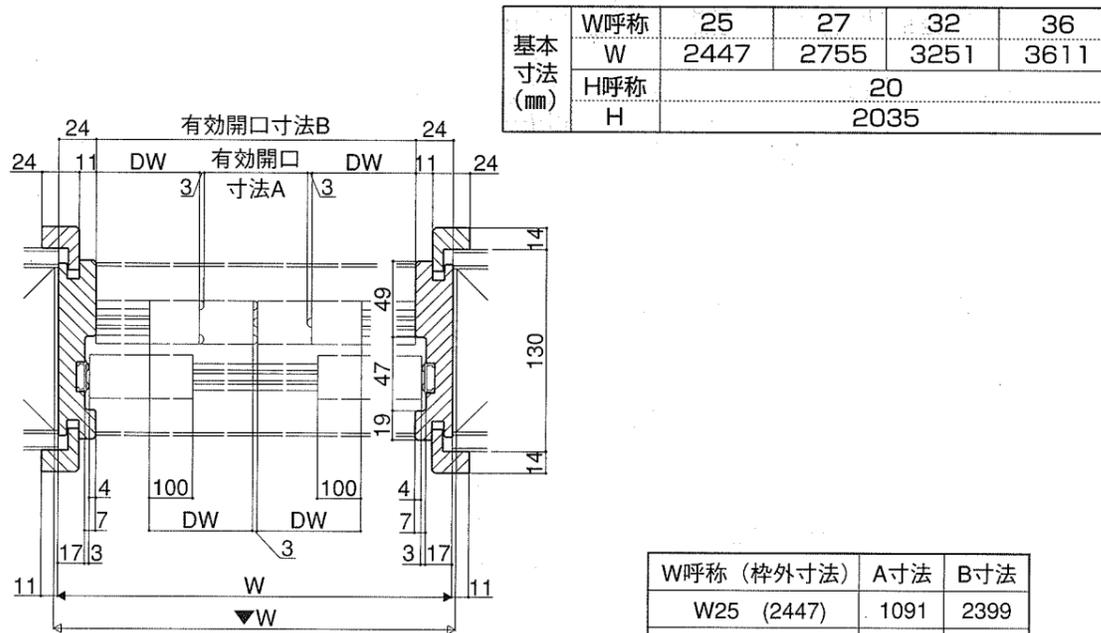


●引違い戸 (4枚建) ユニット ケーシング付

縦断面図



横断面図



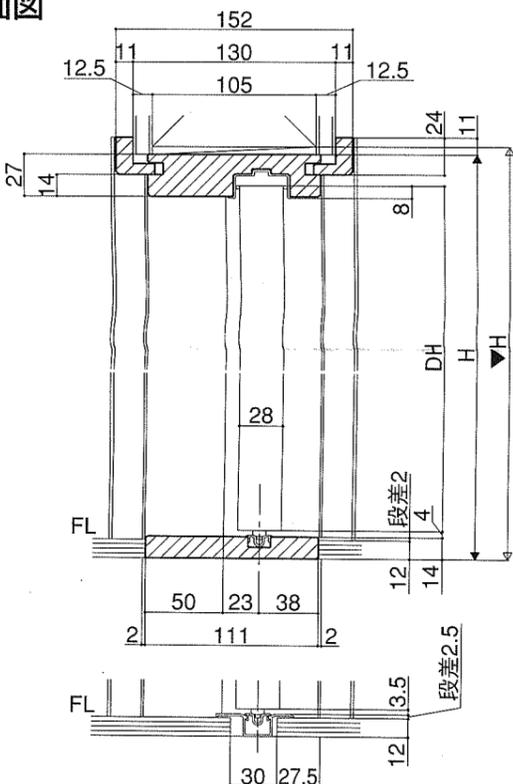
基本寸法 (mm)	W呼称	25	27	32	36
	W	2447	2755	3251	3611
	H呼称	20			
	H	2035			

W呼称 (枠外寸法)	A寸法	B寸法
W25 (2447)	1091	2399
W27 (2755)	1245	2707
W32 (3251)	1493	3203
W36 (3611)	1673	3563

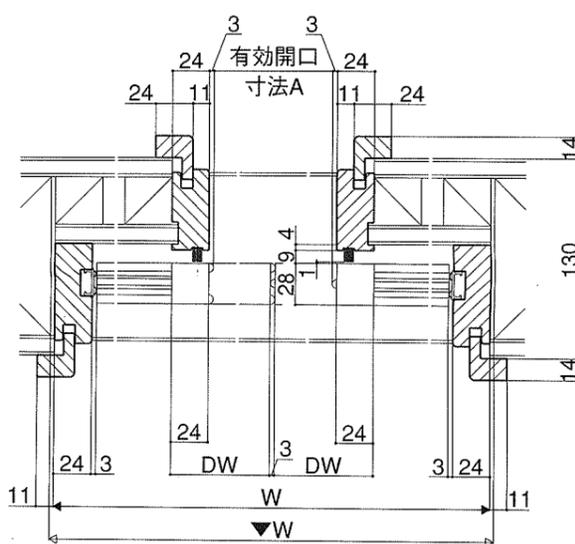
※枠の見込み寸法が変わっても、敷居の位置は縦枠センターより共通の位置となります。

●引分け戸ユニット ケーシング付

縦断面図



横断面図



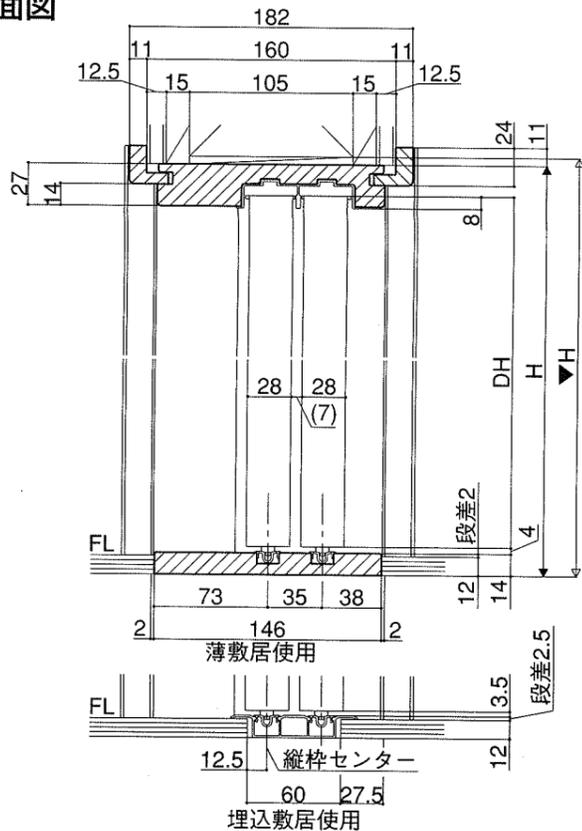
基本寸法 (mm)	W呼称	34	38
	W	3417	3777
	H呼称	20	
	H	2035	

W呼称 (枠外寸法)	A寸法
W34 (3417)	1653
W38 (3777)	1833

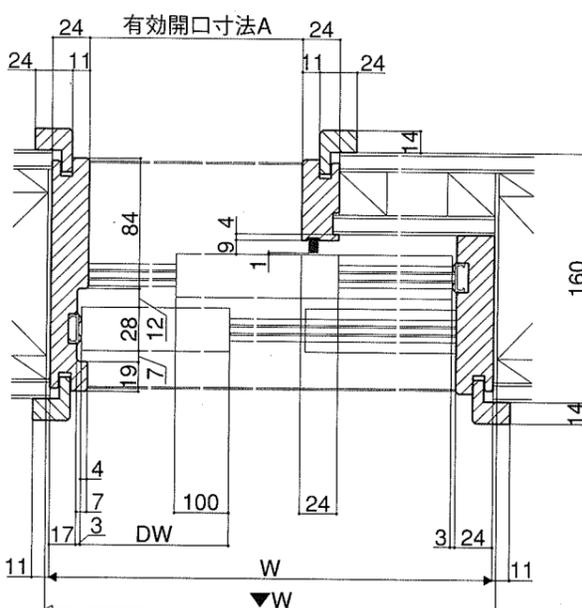
※枠の見込み寸法が変わっても、レールの位置は中縦枠木口より共通の位置 (23mm) となります。

●片引戸 (2枚建) ユニット ケーシング付

縦断面図



横断面図

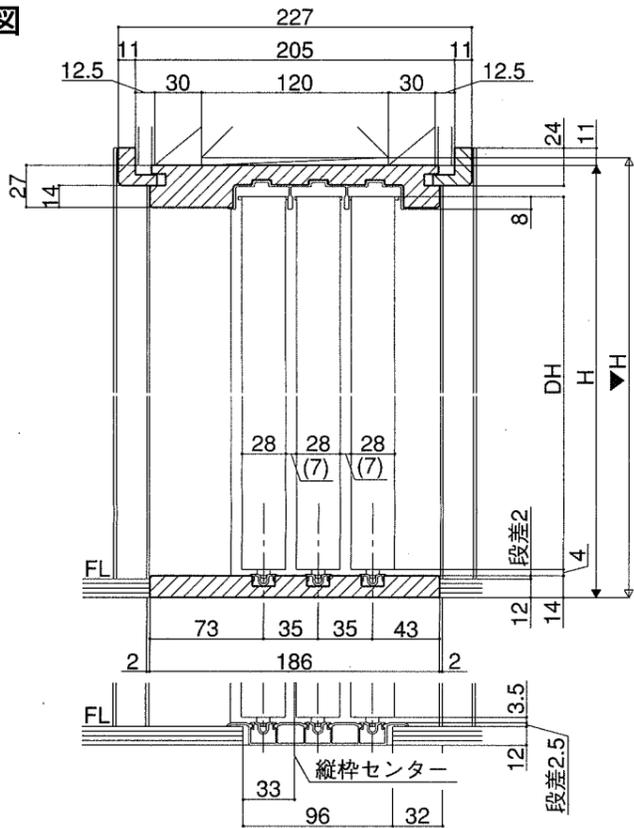


基本寸法 (mm)	W呼称	25
	W	2479
	H呼称	20
	H	2035

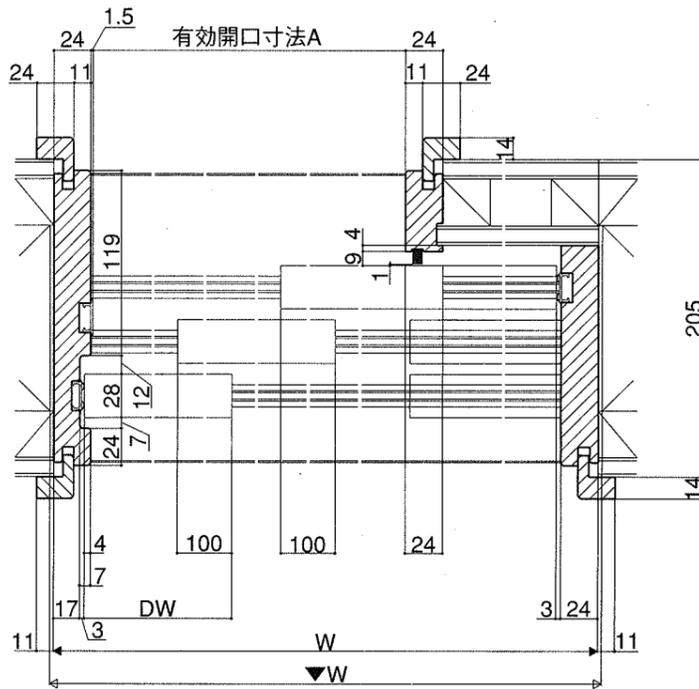
W呼称 (枠外寸法)	A寸法
W25 (2479)	1576

薄敷居使用
縦枠センター
埋込敷居使用

●片引戸 (3枚建) ユニット ケーシング付
縦断面図



横断面図



基本 寸法 (mm)	W呼称	32
	W	3231
	H呼称	20
	H	2035

W呼称 (枠外寸法)	A寸法
W32(3231)	2326.5